

一般社団法人朝霞地区薬剤師会

あさやくだより

第25号



(一社)朝霞地区薬剤師会

発行人: 広報委員長 清水 勝子

〒351-0021朝霞市西弁財1-10-21-312号

TEL: 048-483-4125 FAX: 048-483-4126

asaka-ph@asakaph.or.jp

ご挨拶 2024年度を振り返って 会長 大八木 実・あおぞら薬局

桜花の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は朝霞地区薬剤師会に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

創刊から8年、この「あさやくだより」も第25号を迎えました。「継続は力なり」と言いますが本当に多くの方々に支えられた会報です。「活動報告」の他にも様々なコーナーを写真とともにご紹介、笑いあり驚きあり、楽しく充実した内容の会報誌だと自負しております。今後も長く皆様にお届けができますようご支援を頂ければと思います。

さて、今年度も薬剤師会は様々な事業を実施してまいりました。中でも6月に開催した「朝霞地区薬剤師会創立30周年記念祝賀会」は

特に感慨深く、多くの来賓の方々にご出席いただき、朝霞地区薬剤師会の歴史を共に振り返るとともに、さらに理解を深めていただけたことは、会長としてこの上ない喜びでした。2月には、コロナ禍以降久しぶりにご来賓をお招きしての「新春の集い」も開催、現在薬剤師会が取り組んでいる事業について再びご紹介させていただきました。あらためて皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

次年度も、地域へのさらなる貢献を目指し、薬剤師会一同努力を続けてまいります。より一層のご支援をお願い申し上げます。

2024年度「新春のつどい」 2月15日 志木ベルセゾン ASAMA



ご来賓、会員の皆さまを合わせて40名をお迎えしてベルセゾンで新春の集いを開催しました。大八木会長の開会挨拶の後、穂坂泰衆議院議員をはじめ、各市市長、埼玉県薬剤師会会長、朝霞地区医師会会長の皆さまからご祝辞をいただき、歯科医師会会長の乾杯とともに会が始まりました。

和やかに食事やお酒を楽しみながら、「地域フォーミュラリ」や「ポリファーマシー」についての事業報告も行うことができ、ご出席の皆様にもたいへん興味を持っていただくことができました。最後に恒例の抽選会で会場は大いに盛り上がりました。ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

広報委員長 清水 勝子

2024年度 委員会事業報告

◆ 研修委員会 委員長 須田 友子 (須田薬局本店)

今年度、研修委員会では研修会を6回開催しました。

第1回 5月16日

「調剤報酬改定と朝霞地区薬剤師会の地域連携」

第2回 7月24日

「薬剤師が子どもたちに伝えたい薬（オーバードーズ）と薬物乱用防止について」

第3回 10月27日 青年部と共催

「薬剤師のための災害時緊急対策セミナー」

第4回 11月27日

「薬物乱用防止教室で子供たちに薬剤師が伝えたいポイント」
食物アレルギーに対応・エピペンの使い方

第5回 12月19日

「～連携強化加算対象研修～ 薬局で役立つ災害研修」

第6回 2月13日

「目から鱗の咳と痰の治療と吸入療法—COPDの馬と猫—」



第6回研修会の様子



研修会案内は、
ホームページで
確認できます！



◆ 広報委員会 委員長 清水 勝子 (新倉健康薬局)

➤ 市民フォーラム部会 部会長 内野 裕嗣

➤ IT部会 部会長 関 昌之

広報委員会では、今年度も季刊誌「あさやくだより」の発行（8月、12月、3月）や、主にホームページを活用した情報発信（市民向け・会員向け）を行いました。また、行政や他団体、会員との親睦を深めるイベントとして、6月には「朝霞地区薬剤師会創立30周年祝賀会」、2月には来賓をお招きしての「新春のつどい」を開催いたしました。担当委員による事業紹介なども入れたプログラムで、薬剤師会の活動や存在意義をご参加の皆様にも十分ご理解いただけたと感じています。

10月には市民フォーラム部会による「第5回市民フォーラム」を実施いたしました。歯科医師の先生をお迎えしての市民のための講演や「おくすり相談」、「キッズファーマシー」コーナーなど盛りだくさんの内容で、ご来場くださった市民の方々に「薬剤師」の仕事をしっかりとアピールすることができました。市民フォーラムは次年度も開催予定です。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

市民フォーラム



◆ 地域連携委員会 委員長 服部 秀俊 (ナツメ薬局)

➤ 地域フォーミュラリ部会 部会長 安藤 正純

三師会での対面での意見交換を行い、医科向けで2領域（スタチン系、抗アレルギー薬）、歯科向けで1領域（鎮痛薬）を取りまとめました。薬剤師会が3領域の地域フォーミュラリを作成し、国保連のデータより地区の使用量と金額を把握することでどのような医薬品が使われていることが分かりました。今後は薬剤師会がこの情報をいかに理解し活用するかが課題です。

➤ PBPM部会 部会長 上妻 加奈

PBPM部会は病院薬剤師の先生にもご参加いただき、院外処方箋の疑義照会簡素化プロトコルについて協議を行っています。今年度は新たに防衛医科大学学校病院と締結いたしました。今後は締結する病院の拡大、取り入れているプロトコルの課題を抽出し協議していきたいと考えています。

➤ ポリファーマシー部会 部会長 上妻 加奈

ポリファーマシー部会では「重複頻回受診・重複多剤投与者への支援事業」について行政と協力して事業を行っています。新座市では事業の委託を受け、対象者の方に聞き取りを行い、重複解消につながる結果となりました。志木市では事業の周知と協力の案内を各薬局に行いました。今後もポリファーマシー解消に向け行政と協力を行っていきたく考えています。

➤ 入退院支援部会 部会長 大谷地 宏和

【朝霞地区入退院支援の手引き ～入退院支援ルール～】の今後の活用について

会員への認知度向上・使い方を広げる方策を検討

- ・薬剤師会ホームページに常時載せてもらう。
- ・どの様な目的で連絡を行っているかなど、実例も含め使い方と広め方が大切。
- ・手引きからの関わりで、地域支援体制加算、ケアマネとの情報共有、加算のきっかけにもなるよう広げる。

◆ 災害対策委員会 委員長 細川 玄機 (三原薬局)

今年度の災害対策委員会では、昨年作成に取り組んだBCP地震編の見直し及び、災害時の安否確認方法について検討を行ってきました。安否確認方法では主にLINEグループを利用しようとしたのですが、会員外のメンバーが大半を占めてしまったため、現在、公式アカウントを作成し、それを利用した安否確認方法を模索中です。

また大規模地震時医療活動訓練に参加しました。ここでは自治体職員、医師と連携し、救護所の立ち上げを行い、そこでの医薬品の管理、供給活動を訓練させていただきました。

さらに、埼玉県薬剤師会災害担当委員でもある、株式会社実務薬学総合研究所の水八寿裕様を講師に招いて、「薬局で役立つ災害研修」と題して、自然災害、感染症対策、県との災害協定について研修会を開催しました。この研修会は毎年継続して実施していく予定です。

2024年度 委員会事業報告

◆ 実務実習委員会 委員長 斎藤 武志 (あおい調剤薬局 株式会社)

実務実習委員会は実習生に「地域に密着した薬剤師」の学びを提供し、実習生自身が薬剤師職能に対して高い目標・意識を持ち、より意欲的に実習に取り組めることを目指し質の高い実習をサポートするべく活動を行っています。薬局内では行うことが難しい実習に関しては「集合研修」を行うことで受入薬局のサポートをしています。

2024年度は13の薬局に34名（Ⅰ期7名Ⅱ期14名Ⅲ期13名）の実習生を受入れていただき、集合研修では「災害」「ワールドカフェ」「学校薬剤師」を行い、実習生の学びを深めることができました。

2025年度は33名の実習生を受け入れる予定で、Ⅰ期は2月から始まっています。

実務実習委員会としては引き続き質の高い集合研修を企画・立案し、受入薬局及び指導薬剤師の意識をより高めていきたいと思ひます。また未だ指導薬剤師の資格を有していない会員薬局にご興味を持っていただけるように積極的に活動内容を紹介していく予定です。今後とも宜しくお願い致します。



◆ 学校薬剤師委員会 委員長 渡邊 美知子 (あさか台わたなべ薬局)

学校薬剤師委員会では、4市教育委員会などの学校設置者と契約を交わし、学校薬剤師を推薦しています。その職務は、発達の重要な時期にある児童生徒のために健康的で快適な学習環境を整えることが主体となるため、医薬品に関する知識に加えて、公衆衛生学、衛生化学等の知識や技能も必要です。また、児童生徒に関わることから学校薬剤師には教育者の一員として学校教育を正しく理解することが重要で、薬物乱用防止教室の開催やポスターコンクール応募の学校周知等も支援しています。

職務に必要な知識・技能の研鑽に役立つ研修会を研修委員

会と共催し、今年度は現役学校薬剤師だけでなく、学校薬剤師に興味・関心を持たれている方や薬学部実習生、教育委員会、保健所職員等多くの参加をいただきました。

今年度は、長年勤務され退職された4名の方に感謝状を贈ることができました。そして学校薬剤師新規採用者の育成も積極的にを行っています。

次年度は幼稚園、認定こども園薬剤師と学校薬剤師との意見交換、交流を深めたいと考えています。

学校薬剤師委員・研修委員 中村 明子・アサヒ堂薬局

◆ 青年部 部長 江口 武幸 (アトム薬局)

朝霞地区薬剤師会青年部は、活発な活動を推進することに力を入れた1年となりました。

6月には「症例共有カフェ」を初めて開催、9月には「第57回日本薬剤師会学術大会」のボランティア活動に参加し、青年部としての社会貢献を果たすことができました。

10月には、NPO法人薬剤師緊急対応研修機構代表理事山口勉先生をお招きして、2回目となる「薬剤師のための災害時緊急対策セミナー」を開催、2月には再度「症例共有カフェ」を実施し、それぞれとても有意義な時間を過ごすことができました。

次年度は、症例共有カフェやセミナーの開催に加え、さらに青年部員同士が気軽に交流できるイベントを企画し、部員同士の横の繋がりを深め、より良い組織作りを目指します。



コラム：黒目川の薬箱 「OTC類似薬の保険給付について」

最近、薬剤料や調剤報酬を巡る保険制度に関してメディアやSNSでさまざまな議論が繰り広げられています。主なものとしては、

1. 高額療養費制度の上限額の引き上げ（凍結）
2. OTC類似薬の保険給付からの除外（日本維新の会が主張中）
3. 処方箋医薬品以外の医療用医薬品の零売の許可（日本総研の提言）

これらの議論に共通する前提は「薬剤料が社会保障制度を圧迫している」という危機感なのですが、本稿では薬剤師にとって関わりが深い2.について軽く解説します。

まず、薬剤料は本当に伸びているのか？という点についてですが、2015年ごろから調剤報酬と薬剤料は上昇傾向が止まっています。また、円建てではなくドル建てで日本の薬剤料をみた場合には円安の影響を受けてさらに価格が下がっています。IQVIAという医薬品市場の調査会社による世界の医薬品市場の予測では、日本の医薬品市場は2028年まで「縮小か微増」となっていて、国内の議論とはトーンが違います。

つまり、薬局業界は「薬剤師の努力によってすでに十分薬剤料は抑制されている」ということと「場合によっては抑

制しすぎている面もあるため、薬剤の保険給付方法を含めた薬価制度を見直す必要もある」ということを主張すべきだと考えます（日本の経済全体が停滞していることはまた別の問題です）。

また、この議論で注意が必要な点を2つ挙げておきます。

1. 「OTC類似薬」の定義が明確になっていないまま議論されています。日本維新の会や日本総研の提言などは「医療用医薬品のうち処方箋医薬品以外」を指しています。従って、「OTCが販売されていない非処方箋医薬品」は誰も使えなくなります。
2. OTC類似薬を保険外にした場合に、へき地などの医療機関の近隣に保険薬局が存在しない場所では誰がOTCを販売するべきか？を想定すると答えは明らかで、新しいバージョンの院内処方が始まる可能性を慎重に吟味する必要があります。

広報委員 田代 健・地球堂薬局

会報記事への皆様のご意見、ご質問を募集しています。右のQRコードからフォームを開き、どしどしお寄せください。



おすすめの映画

「はたらく細胞」

清水 茜原作 武内 英樹監督 配給ワーナーブラザーズ



友人からすすめられ、久しぶりに映画館に行きました。
わたしたちの体内で働く細胞を擬人化した実写映画で、健康的な生活を送る高校生の体内で楽しく働く細胞たちと、不摂生な生活を送る父親の過酷な環境の体内で働く細胞たちの日常と、病原体との戦いを描いた映画です。

中学の生物の授業(?)ではじめて習う赤血球、白血球、血小板、NK細胞、キラーT細胞、ヘルパーT細胞、マクロファージ、肺炎球菌や黄色ブドウ球菌などが登場し、体内でどんなことが起きているのか楽しく、わかりやすく描かれています。また親子愛にもふれ、涙する場面も…。教科書で学ぶ前に、また改めて生活を見直す機会としてもおすすめの映画です♪

広報委員 磯村 和美・かくの木菅沢薬局

おすすめの本

「夢と金」

西野 亮廣著 (幻冬舎)



『お金が尽きると、夢が尽きる。これが真実だ。』この言葉を聞いたとき、皆さんはお金に対してどんなイメージを持つでしょうか？お金は汚いもの、お金のことはあまり触れるべきではない。お金って言うてしまうと夢がないよね。人により、いろいろな考えがあると思います。

この本では、お金ってなんで必要なの？なぜ飛行機にファーストクラスがあることが必要なの？プレミアムとラグジュアリーの違いってなに？富裕層の考え方ってなに？クラウドファンディングの本当の意味って？ファンと顧客の違いってなに？など、お金に対しての考え方を少し違う角度から見るができる、新しい気づきがある面白い本です。

広報委員 金子 修治・ミドリノ薬局

コラム「さくら。」

春の季語にも用いられる日本の代表的な落葉広葉樹です。種類は600以上とも言われています。馴染みのあるソメイヨシノ、そのあと咲き誇る八重桜。別名牡丹桜など、これから楽しみな時期ですね。

朝霞付近の桜の開花予報は3/28、満開は4/4。それに合わせて朝霞市内の黒目川花まつり3/29・30、朝霞駐屯地一般公開3/30などがあります。春を感じる散歩なんてどうでしょうか？

私が気になる桜は、和光樹林公園と大泉中央公園の間の道路。車で窓を開けて走るか、自転車でゆっくり走るか検討中です。

それと、第110回薬剤師国家試験合格発表は3/25です。この地区で実務実習を行った学生たちから、桜が咲く報告がある事を祈って、開花を待ちたいと思います。

広報委員 関 昌之・ウイン調剤けやき薬局



俳句を楽しむ



渡邊 みち草
(理事) 渡邊 美知子
あさか台わたなべ薬局

濡れてゐるとげ柔らかな薊かな

暗闇にぴくりともせず土蛙

強風に辛夷の花の耐へにけり

コンビニの鶯餅を二つ買い

踏まれても命生まるる土筆かな

これまでの会報はすべて
こちらでご覧になれます♪

創刊号から第25号まで印刷しやすい
ようA4判で掲載しています。



編集後記

広報委員として、2017年10月1日発行の「あさやくだより 創刊号」から今回の25号まで、すべての会報制作に携わってまいりました。

この季刊誌の発行は、「薬剤師会の活動を会員の皆さまに知っていただくこと」を目標とし、広報委員を中心に理事の協力のもと始まったものです。第1回の市民フォーラムの報告、日本初の行政・医師会・薬剤師会の協働で実施したポリファーマシー対策事業、新型コロナウイルス感染症流行時には地区内のオール薬剤師で取り組んだワクチン接種支援事業の経過報告記事は特に印象深いものでした。俳句やおすすめの本・映画の紹介など、今に続く人気記事もあります。A4版4ページの限られた情報量ですが、毎号カラー印刷でお届けして皆様楽しんでいただいているとそれを励みにしております。

今回編集後記を担当したことで、あらためて25号まですべてを手に取り、来し方を振り返る機会を得ました。感謝。

広報委員長 清水 勝子・新倉健康薬局

朝霞地区薬剤師会
朝霞市西弁財
1-10-21-312
TEL : 048-483-4125
FAX : 048-483-4126

